

第1回「りょうCafe」ご案内

第1回「りょうCafe」を、右下の表の通りに開催いたします。ご都合の良い日程と場所にてお気軽にお越しください。

今回は、**船橋市議会平成27年度第2回定例会(5～6月開催)**のご報告をさせていただきます。今議会で決まったこと、石川りょうの発言内容などを、皆様にわかりやすく丁寧に説明させていただきます。7月25日(土)に発行される「船橋市議会だより」に沿って解説いたします。

議会報告の後には、皆様から議会で

取り上げてほしいこと、市政に伝えてほしいことなどをお聞きするとともに、参加者全員で地域の問題などを話し合いたいと考えています。

参加費などはかかりません。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

曜日	時間	場所
7月26日 日曜日	13時～15時	新高根公民館 第2集会室
8月8日 土曜日	10時～正午	飯山満公民館 第2集会室

出張りょうCafeも開催中です!

りょうCafeには出られないけど、石川りょうに話したいことがある、自分たちの集まりに石川りょうを呼びたい、という方は是非ご連絡ください。場所をご指定いただければ、日時は要相談ですが、石川りょうが船橋市内のどこにでも伺います!

石川りょうプロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊(ケニア)、国際連合インターン、開発コンサルタント(民間企業)を経て、外務省(外交官)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT)257点(TOEIC 915点相当)、プロジェクトマネジメントスペシャリスト、仏語検定3級、政策学校「一新塾」32期生、ふなばし市民大 平成26年度ボランティア入門学科



連絡先

携帯電話: 080-6575-4711
FAX: 050-3516-9393
メール: info@ishikawaryo.net

市政に対するご意見やご質問、ご要望を何でもどしどしお寄せください!



もやっています。

詳しくはホームページへ!!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



発行者 石川亮

船橋市議会議員

石川りょう通信

2015年6月号 Vol.1



5,923票をいただき初当選!



4月26日に投開票されました船橋市議会議員選挙にて、**5,923票**をいただき、立候補者73人中2位で初当選をさせていただきました。たくさんのご

期待をいただき嬉しい反面、自分は皆様からのご信託に応えることができるのだろうかという「怖さ」を感じました。この「怖さ」に打ち克つためにできること。それは、「**努力あるのみ**」だと思っています。**しっかり働き、市民の皆さんにもっとも身近で、クリーンな政治家を目指す**。この初心を忘れず、一生懸命頑張りますので、今後とも石川りょうの議員活動を、温かく、ときには厳しく見守

っていただけますようどうぞよろしくお願いいたします。なお、公職選挙法の規定により、お礼のご挨拶は控えさせていただきますようお願いいたします。

さて、議会活動を円滑に進めるためには、会派*1に所属することが有効です。私は、現職議員2名、新人議員4名からなる新会派「**新成(しんせい)**」に所属することになりました。新成に所属を決めた理由。それは、超党派であるため、党利党略にとらわれず、**是々非々**で議論ができる会派だからです。

議会内の委員会では、**議会運営委員会(議運)*2**と**総務委員会*3**に所属することが決まりました。各委員会においてもしっかり働いてまいります!

*1 会派とは?

政策・主義・目的などを共有する議員が集まる団体。会派の所属議員数によって、委員会の議席数や、議会での発言・質問の時間配分等が左右されます。船橋市議会では、3人以上の議員から会派を結成できます。

*2 議運とは?

具体的には、議会の会期を決める、議事の順序を決める、議員による発言や質問の順番を決める、意見書等に対する会派の態度をあらかじめ決定しておく等、議会の運営を円滑に進めるための委員会です。議会改革について協議したりもします。

*3 総務委員会とは?

何でも屋さんのイメージ。船橋市議会には、健康福祉、文教、建設、市民環境経済、広報という常任委員会がありますが、これらの委員会の所管に属さない事柄のすべてを担当します。例えば、財政、税金、危機管理等です。

芝山プラザの跡地について

平成24年末に閉店し、平成26年末に更地となった芝山公設小売市場(芝山プラザ)の跡地活用についてのご意見とご要望を多数いただきます。現状調査をいたしましたのでご報告します。

【船橋市役所に聞きました】

前提として、芝山プラザの跡地はUR都市再生機構の所有する土地であり、**船橋市の土地ではありません**。そのため、ここに施設などを建てる場合には、URに対して賃料を支払わなければなりません。賃料は芝山プラザの時で毎月約90万円、年間では1千万円以上かかっています。さらに施設などを建設すると、数億円のお金が必要になります。**船橋市としては、現在のところ、跡地の活用について積極的に動く考えはない**ということです(政策企画課)。

但し、URが跡地の活用を始めるときには、市として、商店街の振興のためになるような利用をしてほしいと要望・助言はするということです(商工振興課)。

【URに聞きました】

現時点で、**芝山プラザ跡地を活用するための具体的な計画はない**ということです。但し、URとしては、住民である芝山団地の皆さんの理解を得られるような活用をしたいとは考えているそうです。UR内での協議を経た後に、石川りょうに対して、再度連絡をいただけることになっています。

さて、このように調べてみると、現時点で芝山プラザ跡地の活用について具体的な計画はないことがわかります。**今後、跡地の活用を具体的に進めるに当たっては、住民の皆さん(の代表者)、商店街、UR、市役所など全ての関係者が一堂に会して、話し合っ**て決めていく過程が必要になると石川りょうは考えています。誰かに一方的に決められてしまうと、その他の関係者の不満が残ります。丁寧に合意を形成していくことが大切ではないでしょうか。この問題については、これからも随時報告していきます。



市内のバスケ少年・少女の皆さんへ



去る5月3日(日)、プロバスケットボールチームの千葉ジェッツが船橋市をホームタウンとすることになりました!この記念すべき日に船橋アリーナで行われたジェッツの試合、私も会場で観戦させていただきました。目の前で見るとダンクシュート!初めて見るトップリーグの試合に、終始大興奮でした。

その試合後、帰路につこうとしていた私に、たくさんのバスケット少年たちが訴えるのです。「周りには外でバスケができる場所がほとんどないんです」。

確かに、**市内には屋外で気軽にバスケを楽しめる場所がほとんどありません**。船橋市は「スポーツ健康都市」を宣

言しているのに…。

早速、市役所の生涯スポーツ課を訪ねてみました。すると、市役所の皆さんも気持ちは同じ。これまでも、ゴールを設置しようと考え、努力してくれていたことがわかりました。しかし、バスケのゴールを置くということには大きな問題が伴うことも事実なんです。それは**音の問題**。バスケに対しては、他のスポーツよりも、近隣住民の方々からの反対意見が多いのです。

しかし、せっかく千葉ジェッツを迎え、バスケを船橋の代表的なスポーツの一つにしようという機運も高まっています。生涯スポーツ課の皆さんと相談し、まだ実現できるかどうか確約はできませんが、**夏見の運動公園の土のグラウンドの隣にバスケットゴールを設置しようというアイデアも出てきました**。魔法のように、すぐにたくさんのバスケットコート市内全域に整備することはできませんが、これから少しずつ進めていきたいと思っています。いつか船橋が「バスケの街」と呼ばれるように。



緊急コラム 深刻! 船橋市の待機児童数

平成27年4月1日時点での船橋市における**待機児童数が、ついに1,067人**となってしまいました。主な原因は、①就学前の子どもの数は減っているのに、保育需要は高まっていること、②宅地開発が急増したところで子育て世帯が増えていること、③保育士が不足していることなどがあります。

市は、認可保育所や小規模保育を増やしたり、既存の保育所の定員を拡大するなどの施設整備と、保育士の待遇改善や将来船橋で保育士になろうとする学生への修学補助、保育士の経験がある人の掘り起しなどを通じて人材を確保しようと努めています。石川りょうは、この問題を注視していきます。